

(作成年月日) 2026年3月6日

消化器外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

膵癌に対する術前化学放射線療法後膵切除例における FDG-PET を用いた病理学的治療効果予測に関する検討

[研究の目的]

本研究は、膵癌に対して術前化学放射線療法(NACRT)を受けた後に手術を行った患者さんを対象として、手術前に行うFDG-PET検査などの結果が、手術後の病理検査で確認される治療効果を予測できるかどうかを調べることを目的としています。本研究により、術前検査を用いて治療効果を予測する方法を明らかにし、今後の膵癌治療の改善につなげることを目指しています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2009年10月1日から2025年7月31日の間に当院消化器外科で膵癌に対して術前化学放射線療法施行後に根治的膵切除術を受けられた方

○利用する情報

電子カルテに記録された以下の情報

1) 病理学的因子

・病理学的治療効果 (College of American Pathologists: CAP 分類)

2) FDG-PET における腫瘍最大標準化摂取値 (SUVmax)

・治療前 SUVmax
・NACRT 後 SUVmax

3) 腫瘍学的因子

・腫瘍径
・切除可能性分類 (Resectable / Borderline resectable)
・術前腫瘍マーカー (CA19-9)

4) 患者背景因子

・年齢
・性別
・BMI
・予後栄養指数 (Prognostic Nutritional Index: PNI)

5) 治療関連因子

・放射線線量
・併用化学療法レジメン
・NACRT 終了日から手術までの期間

○上記情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

[研究責任者]

須藤 広誠 （香川大学医学部附属病院消化器外科、講師）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器外科 担当医師 須藤広誠、岡野圭一

電話 087-891-2438（直通）8:30 ～ 17:15

FAX 087-891-2439（直通）